

## 12 章 構造物補修工

- 12.1 ひび割れ補修工（充てん工法）
- 12.2 ひび割れ補修工（低圧注入工法）
- 12.3 断面修復工（左官工法）

# 12章 構造物補修工

## 12.1 ひび割れ補修工(充てん工法)

### 1. 適用

コンクリート構造物のひび割れ補修における1構造物当りの充てん作業に適用する。

### 2. 数量算出項目

ひび割れ補修工(充てん工法)を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、規格とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報			
			規格	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 (充てん工法)	補修延べ延長	B		m		
	充てん材	B	○	kg		

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

注) 1. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

2. コンクリート殻の積込み・運搬及び処分費は別途計上する。

3. 足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。

### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるものとする。

## 12.2 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

### 1. 適用

コンクリート構造物のひび割れ補修における1構造物当りの低圧注入作業（圧縮空気、ゴムやバネの復元力などを利用して加圧できる専用器具を用いて注入を行うもの）に適用する。

### 2. 数量算出項目

ひび割れ補修工（低圧注入工法）を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、規格、補修延べ延長区分とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

区 分 項 目		3次元 モデル	属 性 情 報				
			規 格	補修延べ 延長区分	単 位	数 量	備 考
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	補修延べ延長	B		○	m		
	注入材	B	○		kg		
	シール材	B	○		kg		
	低圧注入器具	B	○		個		

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

注) 1. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

2. 足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。

#### (2) 補修延べ延長区分

補修延べ延長区分は下記のとおり区分して算出する。

①25m 以下      ②25m を超える

### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるものとする。

## 12.3 断面修復工(左官工法)

### 1. 適用

コンクリート構造物の断面修復における1構造物当りの左官作業に適用する。

### 2. 数量算出項目

断面補修工(左官工法)の修復延べ体積、コンクリート殻積込・運搬の数量を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無、D I D区間の有無、運搬距離とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目		区分	3次元モデル	属性情報				
				鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無	D I D区間の有無	運搬距離	単位	数量
断面補修工 (左官工法)	修復延べ体積	A	○				m <sup>3</sup>	
	コンクリート殻積込・運搬	D		○	○		m <sup>3</sup>	

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

注) 1. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

2. コンクリート殻の処分費は別途計上する。

3. 足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。

### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるものとする。